



札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(YMCA561)5217

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

IBC/DBC 国際・国内兄弟クラブ

— 主 題 —

- | | | |
|---------|--------------------------------------|--------------------------|
| 国際会長 | 「Building today for a better future」 | Jennifer Jones (オーストラリア) |
| アジア会長 | 「Action」 (アクション) | 田中 博之 (東日本) |
| 東日本区理事 | 「勇気ある変革 愛ある行動」 | 山田 敏明 (十勝) |
| 北海道部部长 | 「日々新たな者としてYMCAと共に歩もう」 | 宮崎 善昭 (北見) |
| 札幌クラブ会長 | 「手を取り合って」(Let Us Cling Together) | 伏木 康 (札幌) |

- 札幌クラブ役員
- | | |
|------|-------|
| 会長 | 伏木 康 |
| 書記 | 柴田 伸俊 |
| 会計 | 秋葉 聡志 |
| 直前会長 | 柴田 伸俊 |

今月のことば

「あなたがたも用意していなさい。
人の子は思いがけない時に来るからである。」
ルカによる福音書 12章40節 宮崎 善昭選

巻頭言 年男の弁 **「ねずみの想い」** 北海道部部长 宮崎 善昭



今年(2020年)6回目の年男になりました。中田先生より「ねずみの雄叫び」という題で華々しくとのご依頼でしたが、6回目の年男ともなりますと、「雄叫び」よりも「しみじみと思う感」が大きくなってきますので、「思い」としてみました。さて、今年の年賀状に京都在任中のご近所さんで家内の友人からのものがあり、京都Y時代はもう40年近くも前になるのだということが、改めて実感されました。30歳台の半ばでまだ世間にぶら下がり「飯を食わせてもらっていた」半ちくの大人のくせに、気概だけは誰にも負けず「内地の人間にやられてたまるか。」という気持ちだけで仕事をしていたように思います。予備校と野外を担当しましたが、共に働いていた主事やスタッフの皆さん、ボランティアの専門委員(Ysの方が多く、お世話になりました)

ずいぶんご心配をおかけしたなあと思います。寛大な京都Y関係者に恵まれ、多くの学びがあったことは僅か3年間ではありましたが、私の人生にとって価値観の転換もあり大きな収穫があった時期でした。昨今、さすがにあの当時の気概というか気負いは姿を消しましたが(雄叫びはなくなり)、第二の職場が与えられて毎日、自分の子どもと同じ位の年や、祖父が私と同じ年のスタッフ(全て女性ですが)と共に仕事をする事になり、まさに現代風の若者である彼らのパワーには圧倒されています。40年前の京都Yの諸先輩方も、青二才の私をその様な思いであきれながらも赦し、見守ってくれたのでしょう。見守る側に立ち、彼らから刺激を日々受けつつリーダーシップを持続する緊張感が得られる恵みに感謝して毎日を過ごしています。もう一回りすると84歳です。その時どうなっているのか?未来は勿論、もう過去も現在もない人になっているのか、あるいはまだ現役だったりしてなどと妄想してみるのも楽しいものです。



懐かしの京都Y

2019年12月例会 出席報告	在籍会員 8名 ゲスト 4名	例会出席 4名 ビジター 0名	メネット 0名 計 8名	コメント 0名 出席率 50%	メーキングアップ 0名
--------------------	-------------------	--------------------	-----------------	--------------------	-------------

北海道部 2020年新年合同例会

日時： 2020年1月12日(日)17:00~19:00
 場所： レストラン「ケーダッシュ」
 札幌市中央区北2条西3丁目1
 正門館ビル地下1階 電話 011-252-9755
 会費： 7,000円

プログラム：

- 司会： 高杉 純二
- ① 開会点鐘 北海道部部长 宮崎 善昭
 - ② ワイズソング 全 員
 - ③ 部長挨拶 北海道部部长 宮崎 善昭
 - ④ 来賓挨拶 東日本区理事 山田 敏明
 - ⑤ ピアニス紹介 高杉 純二
 - ⑥ ピアノ演奏 鳥塚 千穂さん
 - ⑦ 乾杯 札幌北クラブ会長 佐藤 國彦
 - ⑧ 会食
 - ⑨ YMCA 現況報告
北海道YMCA 総主事 秋葉 聡志
 - ⑩ 各クラブ報告



札幌クラブ会長 伏木 康
 北見クラブ会長 藤原和久
 十勝クラブ会長 池田正勝
 札幌北クラブ会長 佐藤國彦

- ⑪ 皆で歌おう「YMCAの歌」
- ⑫ 閉会点鐘

北海道部部长 宮崎 善昭



ホストクラブ：札幌北クラブ



何故この聖句を 宮崎善昭

終末論的なこの言葉ですが、「常に、世にある自分について覚悟しておきなさい。」と理解しています。つまり、幅広く、且つ深く自分の生き様を想定し、何が起こっても受け止める準備をすることではないかと考えます。

札幌クラブ「時計台コンサート」 Piano 安田文子 ★ Cello 文屋治実

札幌ワイズメンズクラブチャリティコンサート2020 障がい児プログラム支援・ショパン生誕210周年記念

時計台コンサート

Cello & Piano Concert
 文屋 治実 安田 文子
 チェロ & ピアノ コンサート

ピアノ：安田 文子
 チェロ：文屋 治実

2020年 3月17日(火)
 19:00 開演 (18:30開場)

札幌市時計台2階ホール
 (札幌市中央区北1条西2丁目)

全席自由 2,000円

チケット取扱い所
 札幌市民交流プラザチケットセンター TEL: 0570-00-3871
 道新プレイガイド TEL: 0570-00-3871
 教文プレイガイド TEL: 011-471-3355

オンラインチケット <https://ticket.net/events/78167>

主催・お問い合わせ

札幌ワイズメンズクラブ
 TEL: 050-5899-5300 FAX: 011-662-6378
 E-mail: ys@ayakoyasuda.net
 ホームページ <http://www.ayakoyasuda.net>

後援 北海道YMCA・札幌市・札幌市教育委員会
 北海道新聞社

Program
 リスト エレジー 第2巻 S131/R472
 忘れられたロマンス S132/R467
 ショパン 練習曲 第6巻 変ホ短調 Op.10-6 (ガラスノフ編)
 クワターン 第19巻 未知調 Op.72-1
 序奏と華麗なワルーズ Op.3
 チェロソナタ 第1巻 Op.65 ※予定

札幌市民お待ちかねの「札幌ワイズメンズクラブ時計台・安田文子コンサート」が今年も春の訪れとともに時計台で開かれます。

テーマは勿論ショパンですが、今年はちょっと趣向を変えて、チェロとの共演を企画してみました。

チェロ奏者は札幌交響楽団元副首席奏者で現在チェリストとしての演奏を中心に指揮・編曲等、幅広い音楽活動を行っており、今年は「札幌芸術賞」を受賞されている文屋治実氏(ぶんやはるみつ)です。また新しいショパンの魅力が切り開かれます。ご期待下さい。

ぜひご親戚、友人、知人とともにご来場下さい。



ぶんやはるみつ
 文屋 治実

旭川出身。東京芸大卒。東京交響楽団を経てフィンランド留学。元札幌交響楽団副首席奏者。様々の活動に対し受賞多数。1992年「道銀芸術賞」。2004年「札幌市民芸術大賞」。2019年「札幌芸術大賞」ハイメス理事ほか。

札幌ワイズメンズクラブ12月例会 (Yワイ懇談会)

日時：2019年12月17日(火) 18:00~20:30

場所：晩酌御殿居酒屋「鳥魚(とりうお)」

札幌市中央区南14条西7丁目

参加者：小野、柴田、北川、中田、伏木

ゲスト：工藤、洪田、木田、高橋

12月例会は、平成から令和に年号が変わった年の瀬であるため、MYCAを飛び出し、巷に出て今年を振り返り、反省もし、新たな年の年への想いを語ろうという事になりました。元号が変わった年でもあり、天皇家に馴染みのある行啓通商店街の店の中から会場を決めることにしました。

小野さんにいくつかの飲食店をリストアップしてもらい、最終的に鳥魚(とりうお)という居酒屋を会場にしました。「晩酌御殿居酒屋」という長い前書きのついた人気店です。

ワイズメン3名が年末多忙で欠席のため、ワイズと関わりの強いYMCAの職員をお呼びしました。工藤さん、洪田さん、木田さん、高橋さんの4名です。山海の珍味に舌鼓を打ち、ビール、酒、焼酎が進むにつれ、袷を脱いで本音で語りことも出来るようになりました。ワイズからは「忙しい職員にさらに仕事を頼むには遠慮がある」とか、職員員からは「Yの通常のプログラムをワイズが支援するという形だけでなく、YだけではできないいろんなことをYとワイズ協働でしてみたい」など様々な意見、提案が飛び出しました。

ワイズとYの1年間の活動を振り返り、令和2年を展望することができました。これを手始めに、ワイズ会員とYMCA職員の語り合い(飲み合い)を頻繁に続けていきたいものです。



写真左

左から
木田、北川

正面
小野会員



写真左

左から
小野、
伏木、
工藤、
高橋

行啓通りとは？

「行啓通り」とは今では珍しい名前ですが、札幌で最も歴史ある通りの一つです。1976年(明治6年)仙台藩、盛岡藩、会津藩、津軽藩の士族240戸1,114名が入植し屯田兵村「山鼻村」を作りました。

1881年(明治14年)、明治天皇は熊や鹿の方が多かったこの地を訪れ屯田兵たちを励ましました。

後に1911年(明治44年)、大正天皇が、1922年(大正11年)昭和天皇がそれぞれ皇太子時代に明治天皇の跡を慕ってこの地を訪れています。それで「行啓通り」になってしまったのです。

「行啓通り」は非常に先進的・意欲的な取り組みで知られています。クリスマス、お盆、札幌神社の祭礼などでの地域を巻き込んだイベントは目を見張るものがあります。YMCA、ワイズとも毎年様々の場面で協働しています。

YMCA ピンクシャツ販売



YMCA ピンクシャツデー

今年も2月25日ピンクシャツ・デーがやってきます。YMCAでは「YMCAピンクシャツ」を1,000枚限定で販売します。北海道YMCAにお申し込みください。定価1,000円です。

YMCAニュース ★ 担当主事 北川 佳治

① 年頭所感

あけましておめでとうございます。旧年中は、皆様の多大なるご理解とご支援により、YMCAの諸活動がその使命を果たすべく、より良い働きが持てましたこと、心より感謝申し上げます。

2020年は、オールジャパンYMCAのスローガンである「みつかる。つながる。よくなっていく。」を、より一層体現できるよう、YMCAから積極的にワイズメンズクラブの皆様へお声掛けをさせていただきます。従来の慣習にのみとられず、小さなことでも新たな試みや提案をさせていただきたいと思えます。その結果が、YMCAに関わる全ての方々にとって「よくなっていく。」に繋がるよう共に歩ませていただくと幸いです。2020年もどうぞ宜しくお願い致します。(北川佳治)

② 2020年度募集(予告)

会員の方は2月3日〈一般の方は2月6日〉より子ども達のスイミング・フロアスポーツ・文化教養等の各種プログラムの新年度募集が開始します。新年度も多くの子ども達が賑わうYMCAになりますので、スタッフ一同、より良い準備を整えて参ります。新年度も皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。



③ 工藤啓司ディレクター〈ステップⅡ研修終了〉

2019年9月18日から11月30日の74日間で御殿場にある東山荘と東京にある在日本韓国YMCAにてステップⅡ研修が行われました。今年度、北海道から札幌北ワイズメンズ担当主事であり私、工藤が参加をさせていただきました。全国から8名の研修生が集まりました。主に専門学校や高等学校関係が多く、ウエルネス関係者は工藤を含め3名でした。期間中全35講座が行われYMCAミッション理解をはじめ、キリスト教理解、YMCAの歴史、組織運営と管理の学びなどを研修してきました。期間中はワイズメンズクラブ理解の講座があり東日本区理事の山田による講座も行われました。

他には自己研修の場として、他団体の訪問が出来る機会を頂いたので、私は神戸YMCAファミリーウエルネスセンターと仙台YMCAを訪問させて頂きました。研修の締めくくりは修了レポートを作成し、最終日に発表し、11月30日に帰札致しました。35講座の研修による多くの学びや、全国との仲間との深いつながりを作れたこと、そして何よりこの長期研修に送り出して頂いた秋葉総主事をはじめウエルネスセンターのチームの皆に感謝を感じた74日間でした。ありがとうございました。

(工藤啓司記) 下の写真の中段左端



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野を持って、
国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。